

## 令和4年度第2回相生市総合教育会議会議録

日 時	令和4年12月21日（金）14時00分から15時20分		
会 場	市役所 3階 議員控室		
出席者	谷口 芳紀	市長	
	浅井 昌平	教育長	
	萩原 喜樹	教育長職務代理者	
	小西 毅	教育委員	
	西田 香子	教育委員	
	頭島 恵美	教育委員	
説明員	玉田 直人	企画総務部長	
	宮崎 義正	教育次長（管理担当）	
	佐原 正樹	管理課長	
	木本 博子	学校教育課長	
	桑名 雅彦	生涯学習課長	
	平松 孝夫	体育振興課長	
	鈴木 高志	人権教育推進室長	
	富田 大三	管理課副主幹（書記）	
傍聴者	なし		

### 1 開会

### 2 市長挨拶

年末の大変お忙しいところ、総合教育会議に全員ご出席をいただき、ありがとうございます。

また、各委員には平素より相生市の教育行政にご尽力いただき誠に感謝いたしております。さて、現在、教育委員会において、新たな相生市立小中学校適正配置計画の策定を進めていただいております。小中学校の適正規模・適正配置を考えるうえでは、子どもたちに、より良い教育環境を整えることが第一でございます。一方で、学校は地域の皆様に支えられ共に歩んできた歴史がございます。将来に向けても学校は地域コミュニティの核としての役割が期待されますので、学校の適正配置の検討については、現在の保護者だけでなく地域住民の皆様のご意見を伺いながら進めていただきたいと考えております。

この総合教育会議は、今後の相生の教育についての大きな方向性を決定する非常に重要な場でございます。各委員の忌憚の無いご意見をいただきながら、今後に向

けての調整をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 3 協議事項

#### (1) 相生市の教育に関する重点施策について

##### ア 令和5年度の重点施策について

#### 管理課長

令和5年度の重点施策は、「誰ひとり取り残さない！いつでも等しく学べる！教育SDGsの推進」を全体指針として7点の事業をあげさせていただきました。

これらの施策について、各担当課長よりご説明申し上げます。

(管理課より機構順に事業概要説明)

管理課 「第2次相生市立小中学校適正配置計画の推進」、「相生市奨学金事業」

学校教育課 「相生型ハイブリッド学習の充実」、「英検チャレンジ事業」

生涯学習課 「SDGsの視点を取り入れた学びの推進」

体育振興課 「市民体育館バリアフリー化事業」

人権教育推進室 「人権の学びと地域の絆づくり推進事業」

#### 教育次長（管）

只今の説明について、ご協議をいただきます。質疑も含めてお受けいたします。

#### 市長

宍粟市の給食が日本一になったというのを聞きました。

#### 教育長

宍粟市では麹等を活用した給食で日本一になっています。相生市は、近畿農政局長賞までいただいたことがあるので、来年は日本一に挑戦しようと思っています。

#### 西田委員

審査があるんですか。

#### 教育長

特別なものではなくて、普段の給食に提供できるメニューで審査があります。

#### 市長

朝ご飯を食べて来てない子どもたちはどれぐらいいるのですか。

#### 学校教育課長

相生市の場合、朝ご飯を食べている子どもたちは8～9割となっています。なかなか10割とならないので、引き続き啓発に努めていきます。来年度は、食育として給食も含め、テーマを決めて、おいしい給食、栄養のある給食を提供して日本一の給食となるように引き続き取り組みたいと考えています。

## 市長

栄養があって、おいしい給食をお願いします。

## 萩原教育長職務代

学校教育課の英検チャレンジ事業についてですが、英検4級以上を取得しようとする児童生徒へ検定料の2分の1を補助するということですが、小学校ではどのようにするのか、どれぐらいの補助額になるのか、どれぐらいの人数を見込んでいるのかお聞きしたい。

## 学校教育課長

小学校では学校単位で実施するのは難しいですが、中学校であれば年に2～3回実施しており、個別に申し込むことも可能です。4級以上を対象としており、検定料は4級2,900円、3級4,700円、準2級5,700円となっており、その半額を補助しようとするものです。想定としては、4級を200人、3級を200人、準2級を25人程度を見込んでいます。小学生についても、英検に挑戦しようとする児童であれば、何年生でも対象としたいと考えております。

## 萩原教育長職務代理

受検会場はどこになりますか。

## 学校教育課長

受検会場は、姫路の高校等が本会場となることが多いですが、市内の中学校を準会場として登録してあるので3中学どこでも受検をすることが可能です。

## 萩原教育長職務代理

わかりました。この制度で受検者が増えることを期待しています。

## 谷口市長

他にありませんか。

## 小西委員

2点あります。1点目がICTについてで、多くの会社の全社員がスマホで出勤を管理しています。昔は、使えない方に遠慮していた部分が今ではなくなって、この1、2年で当たり前に変ったなと感じています。そういうことから、子ど

もたちが慣れ親しんで、どんどん活用していく時代になっていくと感じますので、活発化していくことを期待しています。

次に、SDGsを取り入れられたというところで、色々な観点があると思いますが、相生の良いところであるとか、相生の特徴で深掘りするといいいところなんかを知らない子どもたちが多いため、せっかく造船の街であり、多くの会社で「ものづくり」をしていますので、どんな「ものづくり」なのかとか誇れるものはなんなのかといった所も含めて相生の特長を勉強する機会をお願いしたい。深掘りすることで、それを目指したい子どもたちがでてくると思うので、ぜひそのような機会をお願いします。

### 学校教育課長

相生の良いところを子どもたちに知ってもらおうという取り組みのひとつとして、今年度は青葉台小学校が「ひょうごの景観ビューポイント150選」に選ばれている遠見山と万葉の岬に行って、説明を受けました。児童は、タブレットで写真撮影を行い、相生の良さを再発見し、学習してきたことを相生市のInstagramに掲載しています。

その他にも、青葉台小学校の4年生がIHIの工場見学に行き、東京の大学の先生にIHIのボイラーの仕組みについて、分かりやすい実験もさせていただきながら説明を受け、相生の企業の魅力について勉強しました。

### 市長

何年か前からIHIでは工場見学コースをつくっておられるからいいですね。

### 市長

他に特にご意見等ないようでしたら、次に進ませさせていただきます。

### 教育次長（管）

それでは、3 協議事項（1）ア 令和5年度の重点施策について、ご了承いただいたということよろしいでしょうか。

只今いただきましたご意見等を尊重し、令和5年度の事業を進めてまいります。

### 教育次長（管）

それでは、3 協議事項（1）のア 令和5年度の重点施策について、ご了承いただいたということよろしいでしょうか。

### 市長及び教育委員

異議なし

### 教育次長（管）

只今いただきましたご意見等を尊重し、令和5年度の事業を進めてまいります。

#### 4 意見交換

##### 教育次長（管）

総合教育会議は市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議となっております。

これからの相生市の教育について、まず、各教育委員より所感をお聞かせいただきたいと思っております。それから、市長の教育に関する所感をお聞かせいただき、その後、市長と各委員による自由意見交換を行っていただきたいと考えております。

それでは、萩原教育長職務代理よりしくお願ひします。

##### 萩原教育長職務代理

新型コロナが発生してから早3年が経とうとしております。まだまだ感染者数は多いですが、Withコロナということで上手く慣れてきたためでしょうか、教育現場においては今年、以前のような落ち着きを取り戻しつつあるように感じております。

これにつきましては、エアコンや自動手洗い、あるいは衛生用品の充足等、市の手厚い配慮に対して、市長にはこの場をお借りしまして感謝申し上げたいと思ひます。

先ほど、来年度の重点施策の中にもありましたが、奨学金事業、英検チャレンジ事業にありますように、奨学金の増額や検定料の補助によりまして、意欲的に教育に取り組めるような児童・生徒がどんどん増えていくことを願っております。

さて、今年もコロナ禍ではありましたが、第1回目の総合教育会議で示された重点施策については、相生市の教育に大きな効果をもたらしてくれたのではないかなと思っております。なかでも私が学校訪問等で感じたのは、ICT機器の活用によって授業のあり方が、私が現場にいた時に比べるとすごく進んでおりました。本当にここ1、2年タブレットであるとか、プロジェクターであるとかそういったものの活用によって、各学校・園において、子ども達が本当に目を輝かせて、意欲的に学習できている大きな要因になっているのではないかなと思っております。来年度も一層ハイブリッドの学習を進めていただいて、効果的で質の高い教育の推進を願っております。来年度も先ほど各課より説明があったように、7点の重点施策のもと、教育のSDGsの目標達成に向けてより一層効果をあげてくれることを期待しております。以上です。

##### 教育次長（管）

次に、小西委員よりしくお願ひします。

## 小西委員

先ほどの発言を意見に代えさせていただきます。

## 教育次長（管）

次に、西田委員よろしく申し上げます。

## 西田委員

先ほどの小西委員のご意見の中にありましたとおり、相生の魅力を子どもたちが魅力的な街だなと思えるように、具体的に発信してもらいたい。素晴らしい会社だけでなく、地域に密着したところもあるので、教えられたり、体験できたらいいなと思います。相生は働く所がないよねと何となく漠然と言うんですが、そうでもないということがわかればと思います。地域に残ろうと思ったら、仕事は大事なので、大きくなる過程でここもいいよ、あそこもいいよと魅力と共に働ける、自分だったらこれ出来るかなとか、その道筋をつけてあげたらもう少し相生に残ってくれるんじゃないかと思います。もちろんパソコンがあれば、どこにいても仕事は出来るんですが、やはり事務所を置くとなると姫路や神戸に出て行ってしまうので、相生に残ってもらえるように今の意見を聞いて、相生の魅力を発信していただきたいと思いました。

それと私が考えるには、文化は人と人とのコミュニケーションがすごく大事で、文化も心のゆとりを育てていく中ではすごく大事なことだと思っています。コロナで少しコミュニケーションの場が少なくなっています。何かをやり切った後でも打ち上げも出来ませんし、頑張ったなってお互いに気持ちを話すような交流がないんですね。3年がたって、私もこの間100周年の舞踊会が終わったんですが、おめでとうというものがなくて、帰ってきたら脱力感、やり切ったというのが少なくて、寂しい時代だなと感じました。皆さんでお互いにあそこが良かったね、ここが悪かったねとその時盛り上がった感情で意見交換したいのが、帰ってからメールでというような時代になってしまっていてどうなんだろうと感じました。街の方では、かなり踊りを頑張ってる方々がいらっしゃるので、私も頑張らないとなと思って相生に帰ってきたんです。やはり何か機械だけでなく、人と人とのコミュニケーションが大事ですので、文化にも力を入れていただきたいなと思っております。以上です。

## 教育次長（管）

次に、頭島委員よろしく申し上げます。

## 頭島委員

教育委員に就任させていただき1年がもうすぐ経ちます。これまでは幼児教育や特別支援に関わったことから、専門的な目線での発言をしなければいけないという重圧もありました。先日、新任の教育委員の研修を受講させていただいて、そこで講師の先生が、教育委員は専門家ではなく素人であることを大切にという言葉が印

象に残りました。教育委員の必携本にもレイマンコントロールということが書かれています。これからもレイマンとしての見識や経験を生かしていきたいと考えています。皆様よろしくお願いたします。

今日は保護者としての観点からお話を述べさせていただきたいと思います。1つ目が中学校に通う娘なんですが、先週からすごく寒くなって冷え込んできました。コロナ禍で換気も必要なので娘に聞くと、換気を行いながら、空調のある教室で落ち着いて授業を受けることが出来ていると聞きました。それ以外にもタブレットの持ち帰りなど、どんどん教育環境の整備をしていただき、安心して子育てが出来る環境に予算をいただいていることを、保護者の一人として改めて市長さんに感謝申し上げます。これからもよろしくお願いたします。

2つ目は適正配置をどう考えるかという協議が進んでいます。娘2人は相生小学校を卒業していて、私は始め少ない人数にすごく不安がありました。でも上の子なんですが、大学で教育について学んでいる娘に話を聞くと、相生小学校での少人数のきめ細やかな教育環境がどれだけ有難いことだったかということをして今、実感しているようです。娘はその頃思い出すと、今でもとても楽しかったと話していました。人数にかかわらず、良い環境で教育していただいていることを改めて実感できました。私も始めは不安だったけど、そうなんだということで今考えを改めました。このように今進めていただいている取り組みのと同じ保護者の人たちにも知らせることが私の役割なのかなというふうにも思っています。以上です。

## 教育次長（管）

それでは、市長よろしくお願いたします。

## 市長

私は、常々申しておりますが、「まちづくり」の基本は「人づくり」にあると考え、これまで教育施策に重点を置いた市政運営を進めさせていただいております。そういったなかで、相生市の今後の教育について、私の考えを3点申し上げます。

1点目でございますが、ICTを活用した「相生型ハイブリッド学習」の更なる取り組みを進めていくことが重要であると考えます。ICTの活用を更に進めることで、子どもたち一人一人に最適で、きめ細かな指導につなげていただきたいと考えております。一方で従来のふれあいや絆を重視した学校内外の体験授業なども大切に知・徳・体バランスの取れた教育を進めていただきたいと思います。相生の子ども達がICTを活用し今まで以上に深い学びが出来るよう、教育委員会と学校が連携し進めていただきたいと思います。またインターネットの利用時間の増加やSNS利用によるトラブルをはじめ、多様化する人権課題への対応についてもお願いたします。

2点目でございますが、DX化が進む社会における生涯学習の取り組みとして、市民の方がデジタル化社会の利便性により、深い学びと生活の豊かさを享受できるようデジタル技術などについて、安心して学ぶことができる環境を整えることが求

められていると考えます。公民館活動の講座をはじめ、多様な学びの機会を充実させ、誰もがデジタル化社会の恩恵を受けることができる学びの場の提供をお願いします。

また、社会体育施設については、障害の有無にかかわらず誰もがスポーツに親しめるよう、計画的な施設整備をお願いします。特に懸案であった市民体育館のバリアフリー化の着実な実行をお願いします。

3点目は、冒頭のあいさつでも申し上げましたが、小中学校の適正規模適正配置の取り組みについてです。小中学校の存続や統合といった学校の在り方は、地域の将来にとって非常に大きな問題でございます。保護者や地域住民のご意見を丁寧に伺ったうえで、住民の合意を得ながら進めていただきたいと思います。冒頭申し上げましたように、私は市政運営を行ううえで、教育施策の充実は極めて重要だと考えております。これまで、各教育委員の皆様方のご尽力により、相生市は先進的で充実した教育の取り組みを行うことができていると、大変ありがたく感謝をいたしております。各委員の皆様の教育行政のみならず市政全般に対するご協力に、衷心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 教育次長（管）

ありがとうございます。それでは、先ほどの協議事項も含めまして、自由意見交換を行っていただきたいと思います。

#### 市長

お二人の委員さんから言われたそれぞれ相生市内の各企業の分かりやすい魅力の発信について、一度、商工会議所とどういったやり方がいいか相談していただけたらと思います。

#### 企画総務部長

分かりました。

#### 小西委員

例えば、シモダフランジさんがありますけど、世界のメーカーなんです。皆さんは知らないとは思いますが、行くとすごい機械が実はありまして、何十億という機械があります。5軸で立体的に穴を掘る技術の特殊な機械があるわけで、このような機械、日本のメーカーで数カ所しかないわけです。そういった企業が相生にあるということなんかも実は知られていない。ぱっと見ただけでは分からないかもしれませんが、それくらいいい機械が入っている。シモダフランジさんもあまりPRされてないので、PRしたらいいのと思っています。

先日、清水建設さんの船がニュースに出てました。相生市で最後の仕上げをアムテックでやったということでした。風車を立ち上げる特殊な船で、ああいう相生の風景が映ると、やっぱり造船の街だと何件か色々な人から言われました。あのニュ



ースを見て、ここでしか出来ないことが結構あるような気がするんですけど、みんな当たり前前で気付いてないだけなんです。

子どもたちにこういう話をすると、自分たちの街に誇れるものがあるということが嬉しいですし、それに向かって科学とか数学とか理科とか、頑張ったら自分もこんなふうになれるかもしれないというような道筋を描けると思います。前も言いましたが、この地域だけ夏の自由研究が科学研究記録となっているということを、よく子どもたちには言っている。この地域だけが科学研究なんだというところがすごく重要であって、そういったところに力を入れている街というイメージで、僕はすごく合致しているなと思います。テクノがあり、IHIがあり、だから科学研究記録なんだと子どもたちによく言いました。

### 市長

宇宙飛行士をされておった野口聡一さんも学校を出て最初に就職されたのはIHIですね。講演が可能であれば、子どもたちに夢を与えてくれるような話をきっとしてくれると思う。

### 教育長

相生の幼稚園では市歌を徹底的に教えています。幼稚園の時に覚えた歌というのは、亡くなるまで残ると思いますので、子どもたちの頭の中には相生市歌は永遠に残るのではないかと思っています。

### 西田委員

市歌が歌えるということは、いいことですね。

### 市長

文化の関係では加西市が毎年年末に能をやっていて、相生市も一度、野村萬斎さんが親子で来てくれた。こういった本物を子どもたちに見せてあげたらいいと思う。

### 西田委員

本物に触れるというのは大切なことだと思います。

### 教育長

知識はICTで入ってくるので、生の体験というのを大切にハイブリッド学習として進めていきたい。

### 萩原教育長職務代理

昔は2年に一度、本物に触れるといったことで、学校に来てもらって演奏してもらったりという事業があったと思うんですが、今もありますか。

## 学校教育課長

今もあります。

## 萩原教育長職務代理

日本の様々な伝統を招いて実施してたので、続けてほしい。

## 西田委員

踊りにおいても、これは見たいと思われるようにやっていきたい。

## 市長

昔は、「ベン・ハー」や「エル・シド」、「橋のない川」等の映画を見に旭館に連れて行ってもらっていた記憶がある。いい映画を子どもたちに見せてあげるといのもいいと思う。

## 市長

頭島委員の意見の中に小規模校の話がありました。やはり少人数学級で良かったという意見の子もいれば、大勢の方が良かったという意見の子やいろんな考えの子がいるだろうと思っています。

## 市長

萩原先生いかがですか。

## 萩原教育長職務代理

不易と流行という言葉があります。私は、年齢的にも不易の部分を追いかけることが多いですが、若者はやはり流行を追いがちになります。そういう中で教育においては、不易の部分であるコミュニケーションや体験学習を大事にしていけないといけないと思います。若い人にもこういったところを持ちながら流行を追いかけてほしいと思います。

## 市長

日本舞踊の世界でも若い世代に育ってほしい。

## 西田委員

人数が減ってくると、1人あたりの費用も大きくなるので、100周年や105周年といった大きな舞台になると大変になる。

## 市長

そうなる若い世代にはむずかしいですね。やはり伝統を守ろうとすると大変ということですね。

**西田委員**

本当に大変な部分があります。

**市長**

他にないでしょうか。

**全委員**

ありません。

**教育次長（管）**

今後の相生市の教育に関し、ご意見をいただきありがとうございました。

今回いただきましたご意見を踏まえ、事務局といたしまして関係部とも協議を行い検討させていただき、更なる取り組みを進めさせていただきたいと考えます。

それでは、本日の協議事項はすべて終了いたしました。閉会にあたり浅井教育長よりご挨拶をお願いいたします。

**教育長**

《閉会の挨拶》

**令和4年度第2回相生市総合教育会議を終了**